

令和3年度 学校自己・関係者評価システムシート (私立栄東高等学校)

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学ぶ」のもと、豊かな人間形成を図り、社会に寄与する人間の育成を積極的に推進する。また、生徒一人ひとりの充実した学校生活と進路希望実現を目指し、生徒、保護者の期待に応える進路指導の在り方を実践する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平素の授業を充実させ、意欲的に学習に取り組む姿勢を育むとともに、万全のサポート体制のもと、生徒全員の進路希望の実現に努める。 2. 横断的な学習を通して、問題発見力や課題解決力、論理的思考力を養い主体的な学習姿勢を育てる。 3. 部活動や学校行事等を通して、個性を尊重し合う心と、さまざまな問題に対応することのできる資質を育てる。 4. 本校の教育活動を生徒、保護者および、受験志願者、地域住民に対し、幅広く広報し、情報提供を行う。
------	--

*重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
*番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者 7名

学校自己評価							
年度目標			年度評価				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	効果的な授業を実施し、基礎学力の定着、応用力・論理的思考力の養成に努めている。 教員個々が自己研鑽を積み重ね、生徒の主体的な学習姿勢の育成に努めている。 多角的な進路指導体制を充実させる。 新教育課程を踏まえてカリキュラムを精査する。 大学入学共通テストへ向け対策を講じる。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習姿勢の高揚と学力の定着度合 教員の教科指導力 進路指導成果 大学進学実績 新教育課程の策定 大学入学共通テストの対応・対策 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や継続学習及び主体的な学習の重要性の意識づけ 教員個々の研鑽 進路指導会議、進学講演会、進路ガイダンスの実施 二者、三者面談の実施 新教育課程に向けてカリキュラムを見直し、教育目標を達成する カリキュラム委員会の稼働 大学入学共通テストに必要な基礎力と論理的思考力の養成 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の工夫、改善により生徒の学習意欲及び主体的な学習姿勢を向上させ学力の定着を図れたか。 教科、学年、学校全体の指導体制が効果的に機能していたか。 進路指導が効果的に機能し進学実績に結びついたか。 教育目標を達成すべきカリキュラムを作成できたか。 大学入学共通テストの対策が効果的になされたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 対面、オンライン、ハイブリット授業を駆使し、生徒の学びを止めることなく授業を展開することができた。 生徒は高い学習意欲を保持し進路指導が効果的に機能して進学実績も高い水準を維持している。 新学習指導要領を踏まえてカリキュラムの再編を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させる指導を徹底し生徒全体の学力を向上させる。 新学習指導要領施行に伴い新カリキュラムを実践し学校の指導体制を構築し、より良いものとするため絶えず改善をしていく必要がある。 大学入学共通テストに向けた思考力の養成を一層強化する。
2	土曜講座を通して問題発見力・課題解決力の養成に努め研究、発表等を行っている。 アクティブラーニングを通して、事前研究、グループ討議、発表等を実施している。 修学旅行や語学研修を通して、国際理解教育を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> 各種プログラムの成果 生徒の意欲的な取り組み状況と成果 校外学習や修学旅行の事前研究や事後の発表等の取り組み状況 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を意識させ、解決に至るプロセスを思考させる 生徒の豊かな発想を引き出すための助言指導 校外学習や修学旅行の事前研究や事後の発表等の充実 学校全体で探究活動を推奨し、発信する機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるプログラムとなっていたか。 生徒が主体的かつ意欲的に取り組んだか。 校外学習や修学旅行が事前・事後も含め意義のあるものであったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜講座は制約が厳しい中で最大限の活動をおこない生徒の課題解決力を高め、研究から発表まで主体的に活動することができた。 コロナ禍ではあるが様々な探究活動を実施し、生徒は意欲的に取り組むことができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 土曜講座はコロナ禍でもおこなえる活動を継続していき、更に講座内容を学術的に高めていく。 新型コロナと共存しながら実施可能な活動を考えていく必要がある。 学校推薦・総合型選抜など入試の多様化に対応する。
3	学校生活や特別活動を通して、健全な心身の育成、豊かな人間形成に努めている。 公共の場でのマナーや他者への思いやり、感謝の気持ちを育むための、継続的指導を徹底させる。	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への取り組み状況 部活動参加状況 公共マナーの状況 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭等の学校行事の充実 部活動への参加奨励 生徒集会等における公共マナーの指導や講話による啓発 学年、HR指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への取り組みが意欲的であったか。 部活動への参加が積極的であったか。 マナーを意識した節度ある行動がとれたか。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン文化祭は2年目の取り組みとなり、多くの生徒が意欲的に参加し、規模も大きくなり有意義なものとなった。 公共の場でのマナーは、まだ十分とは言えない状況である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 制約は続くが、できる方法を模索して学校行事を再開し、生徒が主体的に活動できる場をつくる。 公共の場でのマナーは継続して指導が必要で、新しい生活様式の中でも生徒の心の教育を充実させていく。
4	HP、説明会を通じての本校の教育内容、教育活動等の外部発信およびSHIIPメール配信での保護者向けの情報提供を適宜行っている。 積極的な募集広報活動を行い、説明会および相談会への動員、受験志願者の確保に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> HPおよびSHIIPの更新状況とその内容 SHIIPメールの活用状況 学校説明会、進学相談等、募集広報活動の推進状況 	<ul style="list-style-type: none"> HPおよびSHIIPの更新による学校情報の提供と掲載内容の充実 学校説明会や相談会等の積極的な募集広報活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育内容、教育活動が、内外に十分周知、理解されたか。 SHIIPの利用状況の増加がみられたか。 学校説明会や進学相談会への動員および評価が得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> HPを一新して内容も充実した。見やすくなったと好評をいただいている。 制約がある中で、様々な方法で説明会を実施して広報活動をおこなった。 説明会や相談会で本校の教育活動が理解され受験者数増加に繋がった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> HPが一新されたので、本校の教育内容をより多くより早く発信していく。 募集広報を中心にニーズに応えられる発信を工夫しておこなっていく。 コロナ禍の募集広報活動であるが、感染防止策を徹底し受験生の確保に努める。

学校関係者評価	
書面での回答	
学校関係者からの意見・要望・評価	
<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業でも工夫がなされ基礎学力の定着を踏まえた授業がなされていた。 大学入学共通テストや進学実績は素晴らしい成果をあげた。生徒と教職員の強固な信頼関係が構築されている事が要因であると思う。 生徒個々の現状に応じた指導をより充実してもらいたい。 新学習指導要領を踏まえたカリキュラムの再編があり生徒への指導がより丁寧になされるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動が制限されるなか、PCを用いたグループディスカッションなどお互いに刺激し合い自己表現や他者を認めることを学習し成長が見られた。 一部外部活動ができなかったが、創意工夫をした活動が実施され、生徒は意欲的に取り組み、問題解決能力や思考力を養った。
<ul style="list-style-type: none"> 制限された活動だったが、オンライン文化祭、よさこい、マスメームでは生徒たちが何ができるか、何をしたいかを熟慮し、今までの枠に捉われないものとなり、成長が感じられた。 公共の場でのマナーや感謝の気持ちを育む指導は必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> HPが見やすくなった。ICTを活用したツールで、充実した情報内容を保護者、受験生、外部の方々へ発信がなされた。 オンライン説明会では、より多くの方々へ情報発信ができた。 コロナ禍でのオンライン保護者会の実施は、保護者として安心して参加することができた。